

顔・心・体

通巻 46号 平成 29年度
公益社団法人顔と心と体研究会
会報誌

【監事：青木律先生 ご寄稿】

当法人の監事である青木律先生(グリーンウツドスキンクリニック立川 院長)よりご寄稿いただきました。

「ブランド価値について考えた」

私がかづき先生と初めてお会いしたのは1999年のことだと思います。今年は2017年ですので19年のお付き合いということになります。世紀で言うと2世紀にわたるお付き合いになります。

当時私の上司だった日本医科大学百束教授が主催された第23回日本美容外科学会で、私は事務局長としてかづき先生に特別講演をお願いしました。それ以来日本医大付属病院にリハビリメイク外来を開設していただくなど大変お世話になっております。9年前に大学の職を辞し、実家で形成外科皮膚科の診療所を開業しました。その時、自分のクリニックにもリハビリメイク外来を作りたいという私の要望をかなえて下さり、大変感謝しております。まず、書面をお借りして篤く御礼申し上げます。

さて、さる9月に札幌で第40回日本美容外科学会が開催されました。その直後に関連学会で医師だけでなく美容医療施設に勤務するスタッフのための学会(MSCS)というのがあり、私もそこで「ブランド価値」について発表しました。



平成29年(2017年)9月28日
第40回日本美容外科学会(札幌)の懇親会にて
理事長の内田嘉壽子(かづきれいこ)と

(→2ページ目につづく)

* Contents *

表紙~P.2 青木 律 先生 ご寄稿

P.3~5 「顔と心と体のケア」シンポジウム2017

レポート

P.6 理事長(かづきれいこ)活動報告(1)

(セミナー講演)

P.7 理事長(かづきれいこ)活動報告(2)

(日本神経眼科学会総会・日本美容外科学

会総会 研究発表)

P.8 メイクボランティア募集要項



(→表紙からのつづき)



家畜に焼き印（ブランド）を押す様子

出典：Library of Congress (<https://www.loc.gov>)

そもそも「ブランド」という言葉は昔、自分の持ち物であることが分かるように自分の家畜に押しつけた「焼き印」のことだそうです。焼き印は一度押されるとなくなることはありません。そうすると〇〇牧場の牛は品質が良い、などということが評判になり、後にブランドが独り歩きしてその企業や製品の品質のイメージを代弁するようになりました。大切なことはこのブランドイメージというのは供給者すなわち牧場や企業が決めるのではなく、消費者が形成するものであるということです。いくら自分の

会社の製品が品質が高いと宣伝しても、消費者がその価値を受け入れなければ決してブランドイメージは上がりません。最近ではインターネットの口コミなど様々な方法を講じてブランドイメージを向上させようとしていますが、結局作り上げられた虚構のイメージは長持ちせず、すぐに崩れ落ちてしまいます。また一たび崩れ落ちたブランドイメージを復活させることは非常に困難です。

このブランドイメージを向上させるにはたった一つの方法しかありません。

それは地道なたゆまぬ努力です。エルメスであれルイ・ヴィトンであれ、良いものを作り続けるという姿勢が今日の評価を生んでいるわけです。その評価が逆に、Hのマークを見るだけで羨望の対象となるのです。

かづき先生は今年の第40回美容外科学会でもご発表されました。春の日本形成外科学会総会や日本皮膚科学会総会でも毎年ご発表を継続されておられます。おそらく日本中でこの3学会に20年近く毎年発表を続けている人はいないのではないかと思います。そのようなたゆまぬ努力がREIKO KAZKIのクオリティーを高めているのだと感じます。

人間はつい楽な道を選んでしまいがちですが、**歳を過ぎて（失礼！）いまだなお精力的な活動をされておられるかづき先生を見て、まだまだ自分も頑張らなくてはいけないと思う今日この頃です。



「顔と心と体のケア」 シンポジウム2017 ～交通事故後の心のケア～



9月23日（土・祝）東京・品川のココヨホールにて、アクサ損害保険株式会社主催・公益社団法人 顔と心と体研究会共催「『顔と心と体のケア』シンポジウム 2017 ～交通事故後の心のケア～」を開催しました。

当法人理事長の内田嘉壽子（かづきれいこ）の他、オープンハートの会会長の古市佳央先生、日本医科大学 形成外科学 主任教授の小川令先生、若松町こころとひふのクリニック PCIT 研修センター長の加茂登志子先生による講演やディスカッションを行いました。また、主催のアクサ損害保険株式会社の CEO ハンス・ブランケン様、執行役員 損害サービス本部 本部長の原田保様からご挨拶や近年の交通事故の傾向等についてのお話もありました。

今回、初めて当法人が共催となって開催したシンポジウムでしたが、約 200 名の方にご来場いただき、大変充実したシンポジウムとなりました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



後列左から、加茂登志子先生、小川令先生、古市佳央先生、原田保本部長、堤信子さん（司会）、前列左から ハンス・ブランケン CEO、理事長・内田嘉壽子（かづきれいこ）



●原田保氏（アクサ損害保険株式会社 執行役員 損害サービス本部 本部長）

「近年の交通事故の傾向等」

この 10 年間で交通事故件数は約 45%減少しており、重傷の負傷者も同程度に減少している。重傷者の負傷部位は、頭・顔・腕・脚など露出部分が多い。保険会社は、治療と後遺障害について補償を行うがその補償額は、身体的機能・精神的機能・外貌の順に低くなっていく。これは、補償が労働能力の低下に着目しているからである。この傾向は近年の判例で少しずつ変化しており、外貌に対する補償もやや手厚くなってきている。こうした中で保険会社の役割も、これまで単に保険金を支払っていたものから変化し始めており、今後は、顧客のニーズと利益に合致する商品やサービスを提供し、不幸にして怪我をした人々の社会復帰やこれからの人生をサポートする役割を果たすものになっていこうとしている。



【講演（要約）】

●古市佳央先生「生き抜く力」



16歳のときのバイク事故で全身の41%に及ぶ大火傷を負い、外観が全く変わってしまった。不幸のどん底に突き落とされ、生きていても絶対に幸せになれないと思った。それが今、自分は世界で一番幸福な者だと思っている。この変化は、多くのやさしい人、自分を受け入れてくれる人、認めてくれる人との出会いによって起った。その出会いは、外観に対する差別と偏見の中で、あきらめずに勇気をもって外に出て、人に会い、人前で話をする機会を与えられることで得られた。外観が元に戻らなくても人生は終わらないこと、あきらめずにいれば幸せになれることを、自分

自身を証人として人々に伝えている。そして、人に対して思いやりのある行動をとることを呼びかけている。

●小川令先生「傷はここまできれいに治る！」



現代の医療では、命を助けるだけでなく、いかにきれいに傷を治すかということが患者のQOL向上のために重要になってきている。形成外科医として、きれいに直すことを目標に、臨床・研究双方に全力で取り組んでいる。皮膚は再生しないので傷跡が残る。しかし傷を目立たなくする技術は著しく進歩している。ケロイドや肥厚性瘢痕では、好発部位や高血圧や妊娠などとの関係を明らかにしてきた。体の動きによって傷跡に力がかかると悪化することも分っており、それに合わせていくつもの治療方法を開発してきた。早めの予防や治療が治癒期間を短くすることも分っている。

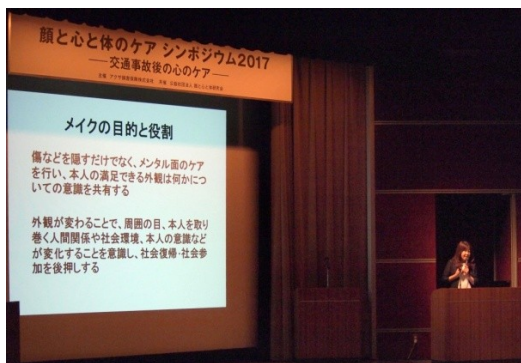
治療には、自費診療になるものもあり、メイクアップセラピーという解決法もある。あきらめずに形成外科医に相談して欲しい。

●加茂登志子先生「こころの傷とからだの傷」

体の傷は治ったのに、心の傷があって社会復帰できないということがある。これをトラウマと呼ぶ。人間の脳は、人間脳（大脳皮質）・哺乳類脳（大脳辺縁系）・爬虫類脳（脳幹部）の三層から成っており、トラウマ体験は、大脳辺縁系に固定された記憶が再体験症状（フラッシュバックや悪夢）を起こすことによって生じる。体験した危険な状況がいつまでも生々しく思い起こされるような心理状態のことである。これに対処するには、レジリエンス（自己回復力）を尊重するステップが必要になる。①身体を取戻し（回復させ）、②自然な感情と適応的な思考を取戻し、③対人関係を取戻して、初めて④フラッシュバックに対応（＝記憶を取戻し整理する）ことができる。そのうえで⑤自分の時間とロードマップを取戻し、心の傷と体の傷を一致させる。心の傷に向き合うのは容易なことではないが、このようなステップを経て、危険な体験の記憶をアルバムの1ページに変えることができる。



●かづきれいこ「メイクの社会学」



子供の頃、冬になると顔が赤くなり、対人関係で辛い思いをした。30歳で心臓疾患が原因であることが分かり手術を受けて治った。それ以後メイクの勉強をして外観の問題を取扱っている。外観に問題を抱える人の辛さは他人にはなかなか分からない。どんなに小さな傷でも、本人にとっては他人の視線が気になって非常に辛い思いをすることがある。メイクによって本人が満足する外観をつくり、そのうえで悩みを聞き過去の実験を整理する。満足できる外観を自分で作り出せる

ようメイク技術を習得していただき、それがいつでもできるようになることで、心が楽になる。そうすると本人は傷が気にならなくなり出し、傷を受容することができるようになり、社会復帰に向かって行く。隠すだけではない、元気な顔に見えるメイクをすることが重要だ。簡単でメイクが濃くなく、汗でも水でも取れないメイクによって普通の生活ができるようになり、QOLが上がる。今後も医師に協力いただきながら、少しでも多くの人々の社会復帰・社会参加に貢献していきたい。

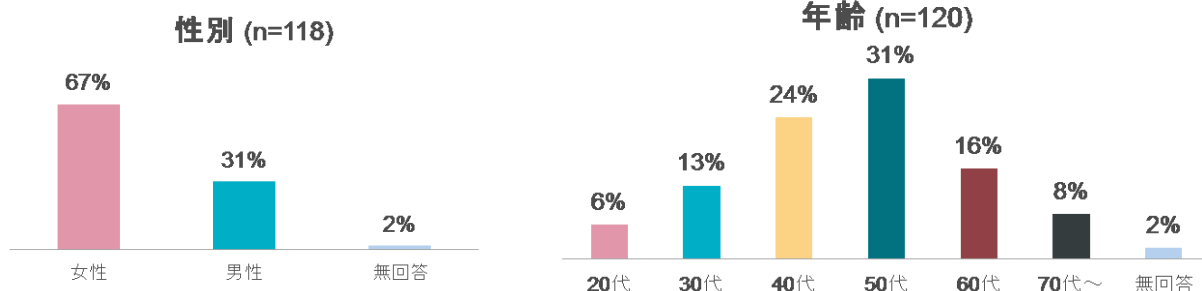
【パネルディスカッション】

パネルディスカッションは、参加者からいただいた質問用紙に回答する形式で行われました。心の傷が治る期間、どん底の状態にあるときに欲しい言葉、外観の問題と保険医療・自由診療、外観に問題がある人の社会復帰をサポートする保険などについて議論されました。詳細につきましては、当法人のホームページをご覧ください。

<https://www.kaokorokarada.org/>



【アンケートより／参加者の性別・年齢】



全体の感想（抜粋）

- ・保険会社がこのようなシンポジウムを開催・企画されたことにすごく驚かされた。今後も続けて開催してほしい。
- ・講師達のエネルギーあふれる話に感動した。見た目を回復してから悩みを聞くというのが印象に残った。
- ・いろんな人に訴えることができるキャストイングがとてもよかった。
- ・「みんな悩んでいる」と知り、気持ちが楽になった。
- ・肌のコンディションが良いと一日中生き生きと暮らせるということが再確認できた。
- ・保険会社に求める新しい保険商品に関する各先生方の要望がよかった。
- ・見た目がいかに人に生きる力を与えるかを実感した。
- ・自分の見た目によって心が暗くなる日がある。相手からどう見えているかということを考えてしまいがちだが、自分が能動的に動くことで「今の自分でもいい」と思えるようになるのかなと感じることができた。
- ・ピフォー・アフターのスライドにびっくりした。化粧品の保険適用は非常にニーズのある提案だと思う。
- ・外観に悩む患者さんが15分後の自分の外観の変化によって気持ちも大きく変化したことに驚いた。メイクの技術のすごさを感じた。
- ・相手に安心感を与えるシンメトリーなメイクの大切さを改めて感じた。

理事長（かづきれいこ）の活動報告（1）

理事長・かづきれいこがセミナーにて講演を行ないました。

10月28日（土）政策研究大学院大学の会議室において株式会社ミュゼプラチナム・一般社団法人日本摂食障害協会の共同主催、公益社団法人 顔と心と体研究会の協力により、セミナー「写真加工アプリにはもう頼らない！その道のプロが真の美しさ教えます」が開催され、当法人理事長のかづきれいこが講演及びメイクの実演を行いました。



セミナー出演者

鎌田真理子さん（株）ミュゼプラチナム）、かづきれいこ、鈴木真理先生（政策研究大学院大学）

講演では、かづきれいこが、外観に問題を抱える人達にメイクの講習・指導を行うことによって、どのようにして彼らの社会復帰・社会参加を後押しするかについて、スライドを使って説明しました。また会場からモデルを募ってメイクの実演を行いました。

他の講演者は、政策研究大学院大学 保健管理センター教授・日本摂食障害協会理事 関東支部長の鈴木真理先生、株式会社ミュゼプラチナム執行役員 ミス・ユニバース日本代表コーチの鎌田真理子氏で、鈴木先生は内分泌の専門家の立場から食の大切さを訴え、蒲田氏はQ.O.L（Quality of Lady=女性の品格）とはどのようなマインドなのかを説明しました。

雨の中、約80名の聴衆が参加し、熱心に耳を傾けていました。



理事長（かづきれいこ）活動報告（2）

<第55回日本神経眼科学会総会での口演 in パシフィコ横浜>



理事長かづきれいこは、11月10日（金）、第55回日本神経眼科学会総会において、「眼瞼痙攣患者の機能的・美容的問題に対する極薄粘着テープの効果」の演題で研究発表を行いました。これは、かづきれいこがこれまで病院等で眼瞼痙攣の患者に対してテープの貼付によって施術してきた59の症例から、テープの効果をもとめたものです。

眼瞼痙攣の患者は、まぶしい、違和感がある、まぶたが下がって視野が遮られる、目が開かないなどの症状だけでなく、目の調子が悪いと外観もおそろかになる、見た目が老けてきて自信が持てないなどの問題も訴えます。

テープ貼付の処置を受けた患者に、眼瞼痙攣の代表的な悩みに対し、施術前、施術後、施術後3週間後の3つの時点の満足度を、Visual Analog Scale (VAS)を用いて自己評価してもらいました。

今回の研究発表では、このVAS評価をもとめた結果とそこから得られる考察について発表しました。研究の内容は、今後、学術論文として公表される予定です。



<第40回日本美容外科学会総会 in 京王プラザホテル札幌>



理事長かづきれいこが、9月28日（木）、第40回日本美容外科学会総会において、研究発表を行ないました。

今回発表した研究は、加齢に伴う皮膚の下垂及び肌の艶について悩みを訴える方202名に対してメイクを施術し、その効果を計測し、その結果を考察したものです。上記と同様、メイク施術前、直後及び3週間後に、自身の外観に対する満足度をVASによって評価してもらった結果をまとめました。

美容外科との関連で言うと、メイクは、外観への関心や美容外科手術への興味が高いと考えられる患者に対して、求める外観を視覚化し、美容外科手術の必要性を判断する材料を提供します。従って、患者が実際に手術する際は納得して手術を受けることができ、患者にとって有用な方法であると考えられます。また、美容外科手術後のフォローの方法として有用な症例もあり、今後は、この点に関するメイクの効果も研究していく予定です。

メイクボランティア 募集要項

最新の募集情報や、他エリアでの開催有無はHPをご覧ください、事務局へお問い合わせ下さい。
入居・・・高齢者入居型施設、通所・・・高齢者通所型施設、その他・・・障がい者施設・視覚障がい者センター等

1/20 (土) 14:00～	入居	メディカルホームまどか西大井(東京)	JR横須賀線「西大井駅」より徒歩
1/23 (火) 14:00～	入居	はなまるデイサービス志茂(東京)	東京メトロ南北線「志茂駅」より徒歩
1/27 (土) 14:30～	入居	緑の郷(神奈川)	東急田園都市線「あざみ野駅」・小田急線「新百合ヶ丘駅」よりバス
12/12 (火) 14:00～	入居	あおぞら(大阪)	地下鉄谷町線「八尾南駅」より送迎
1/20 (土) 13:30～	入居	グランダ野田(大阪)	阪神本線「野田駅」より徒歩
3/4 (日) 14:00～	入居	いわき園(大阪)	四つ橋線「住之江公園駅」より徒歩
3/13 (火) 14:00～	入居	あおぞら(大阪)	地下鉄谷町線「八尾南駅」より送迎
12/13 (水) 13:00～	入居	暖流(高知)	JR「多ノ郷駅」より徒歩
12/30 (木) 10:00～	入居	ちょうろく(富山)	あいの風とやま鉄道「魚津駅」より車
12/30 (木) 14:00～	入居	グループホームひだまり高岡(富山)	あいの風とやま鉄道・JR「高岡駅」より車

上記の時間は、メイク開始のお時間です。集合は記載時間の約1時間前になります。

※冬の時期は、インフルエンザの流行等でメイクボランティアが中止になる場合もございますので、どうぞご了承下さい。
また、ボランティアに参加される皆様も、体調不良のまま参加されると施設の方に「命に関わる」ご迷惑がかかりますので、体調管理には十分に気をつけて下さい。

■ 申込～参加の流れ

<参加条件> 当法人の会員であること、および、当会主催のメイクボランティア講習会を修了していること

<申込方法> ホームページ、またはメール (info@kaokokorokarada.org)、電話、FAXにて、事務局までお申込み下さい

→ 申込を受付けましたら、メールにて事務局よりご連絡いたします※

※<重要>

事務局からのメールが受信可能となるよう受信設定にご協力をお願いします。

メイクボランティアへのお申込みやお問い合わせをメールにてお送りいただき、事務局より1週間以上返信がない場合には一度事務局へお電話(03-3350-1035)をお願いいたします。

ボランティアの開催日が迫っている場合には、該当日の3日前までに必ずお電話いただきますようお願い申し上げます。

<当日案内> 訪問日約1週間前までに、メールにて事務局より「集合時間・引率リーダー名・緊急連絡先」などをご連絡いたしますので、確認後、必ず返信をお願いします。

■ 申込後に参加をキャンセルする場合

理由をそえて、前営業日の15時までに、事務局までお電話下さい。

訪問日が日曜日・祝日・月曜日にあたる場合は特にお気をつけ下さい。(例:訪問日が月曜祝日の場合 → 前週金曜日の15時まで)

■ お願い

1. 上記の通り、訪問には参加条件がございます。該当されない第三者のお誘いをご遠慮下さい。
2. 人数が少なくなると訪問先へご迷惑をおかけしますので、キャンセルの場合はお早めのご連絡をお願いします。
3. ご連絡先(住所、電話番号、メールアドレス等)に変更がありましたら、速やかに事務局へお知らせ下さい。

公益社団法人 顔と心と体研究会 事務局

Tel: 03-3350-1035 (月～金 9:30～18:00 土日祝休み)

Fax: 03-3350-0176 (24時間受付) E-mail: info@kaokokorokarada.org

募集日程は随時更新中です。

メイクボランティアの最新情報は公式ホームページをご確認下さい。
(トップページ → メイクボランティア → 訪問予定)

顔と心と体 メイクボランティア

検索